

【産業技術】ライフサイエンス

植物バイオポリマー製品のパイオニア、Kitozyme 社（ベルギー）

ベルギーのワロン地域では 2005 年春、ワロン科学政策委員会（CPS）が同地域政府のシモネ研究・新テクノロジー相の支援を得て、「技術イノベーション賞」を創設したが、そのスピンオフ部門では 2005 年 10 月 10 日、Kitozyme 社が同賞を受賞した。スピンオフ部門には同社のほか、Delphi Genetics 社やカーボンナノチューブの生産を行う Nanocyl 社などがノミネートされた。

シモネ研究・新テクノロジー相は、「技術イノベーション賞は、ワロン地域のための“マーシャル・プラン”といわれる「ワロン地域の未来のための優先行動」の枠内で創設されたもので、雇用を創出し、企業の競争力を高める研究、イノベーションの振興を目的とする」ことを強調している。

Kitozyme 社は、リエージュ大学のライフサイエンス・分子生物学・植物バイオテクノロジー学部の chitine-chitozane 研究グループ（GRCC）のスピンオフで、リエージュ市の近郊エルスタルに 2000 年 12 月に創設された。創業当時の資本金は 12 万 5,800 ユーロで、2001 年、2002 年、2005 年と 3 度の増資が行われ、現在の資本金は 304 万 9,800 ユーロとなっている。現在、同社の従業員は 19 人を数えるが、2006 年末までには 30～40 人にまで増える可能性がある。

創設者のユーク・ビュルト CEO は、ジェネラル・ド・バンク（現フォルティス・バンク）のベンチャーキャピタル部門の出身者で、大学の研究室に投資価値のあるテクノロジーを探すうち、リエージュ大学の GRCC の研究の将来性に注目した。

Kitozyme 社は、植物からのキチンやキトサンの抽出分野での 8 年間にわたる研究成果の秘める可能性を最大限活用することを目的に創設された。この 5 年間で同社は 450 万ユーロあまりを投資、世界でも初めての試みとなるキノコ起源の植物バイオポリマー（Kitozyme と命名）の生産に取り組んできた。バイオポリマーの生産には、食品産業のリサイクルされた廃棄物などが利用され、同社は環境に優しい独自の革新的な技術を駆使して、非常に付加価値の高い製品を生み出している。

Kitozyme 社の製品は、付加価値の高いアプリケーション機能を持つが、中でも医療装置のためのバイオ癒合、傷の癒合機能、医薬品の投与システム、栄養補助食品用の痩身、抗コレステロール機能、化粧品用の抗菌や水気を与える機能、ワイン等の飲料用の明澄化、無毒化機能が注目されており、同社のターゲットとなる市場を構成している。

2003 年末には、エルスタルの Hauts-Sarts 工業団地にパイロット生産ユニットが設置され、2004 年には特許申請を行った生産プロセスの強化が図られるとともに、キトサンの生産に必要な成分の選別方法がより精密なものとなった。2004 年から 2005 年にかけては、市場調査用のサンプル生産が行われた。医療部門での市場調査は早期に開始されており、ビュルト CEO は、「顧客は我が社の製品がそれぞれのニーズに合ったものであることをすでに理解しており、2006 年春にも最初の受注があり、これに応じて生産が開始される」としている。

今後 2 年間で、年間 30 トンあまりの生産能力を持つことが目標となるが、医療・医薬品、栄養補助食品、化粧品、ワインの全分野での生産能力強化のため、3 つの生産ユニットが新たに建設される。医療・医薬品部門の生産ユニットは、2006 年春にも稼働し、年間 250kg の Kitozyme を生産する。他の生産ユニットは、1 つが化粧品・栄養補助食品部門用で、もう 1 つはワイン部門用のものとなる。共に 2007 年春からの稼働が予定されている。

Kitozyme 社は、この他マーケティングや新製品の開発にも力を入れる。今回の「技術イノベーション賞」の受賞による宣伝効果にも期待が持たれており、ビュルト CEO は、「2004 年の売上は 125 万ユーロだったが、4～5 年後には 2500～3000 万ユーロに達するだろう」との見方を示している。

以 上

< 参考 >

Kitozyme : <http://www.kitozyme.com/uk/home.htm>